

- 1 日 時 令和8年2月26日(木)
 2 出席者 委員7名、職員7名(校長・教頭・教務主任・生徒指導主事・防災主任・2年主任・養護教諭)
 地域学校協働活動本部推進員2名、町教委2名・・・計18名

3 内 容

- (1) 開 会
 (2) 会長あいさつ
 (3) 3学期の学校の様子【校長】
 ・ 児童の活躍の様子
 ・ 学校経営の数値目標(6項目)の達成状況…特に学力調査の結果
 (4) 説明「令和7年度 学校評価報告書」【教頭】
 ・ 重点課題別の学校自己評価、学校運営協議会委員による評価
 → 令和8年度学校経営方針へ
 = ①生徒指導の充実、②学習習慣の定着、③防災・安全に係る指導の充実、
 ④家庭・地域・関係機関との連携推進
 (5) 協議(熟議)「地域学校協働活動について」



<協議 I >

- ① 活動の振り返りとこれからの活動の計画・準備
 ② 3年間(令和5～7年度まで)の年次計画の総括

A 防災教育(危険回避能力の育成)班【司会:岩田、記録:温水】

学 校	B	【避難訓練について】
		<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館…緊張感が無かった。(頭を守る仕草がない。楽しそうに話しながら避難して来た。) 歩道橋…いつもより急ぎ足で避難していた。 海から離れて高い場所に逃げるという意識がついていない。 サイレンが鳴った時点の場所から、適切な避難場所に行けていない。(自分がいつも行く場所に避難している児童がいた。)
地 域	C	【防災マップ・図上訓練】
		<ul style="list-style-type: none"> 民生委員さん方と防災マップを作成できた。 図上訓練を実施できた。



B あいさつ(コミュニケーション力の育成)班【司会:本田、記録:山田(倫)】

学 校	C	・ 教師のアンケートをとったところ、									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>目 標</th> <th>教師の評価</th> <th>児童の姿など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あいさつを返す 100%</td> <td>40~50%</td> <td>高学年児童は恥ずかしさが出てきている。</td> </tr> <tr> <td>先出しあいさつ 80%</td> <td>20~30%</td> <td>低学年児童が気持ちよいあいさつができる。</td> </tr> </tbody> </table>	目 標	教師の評価	児童の姿など	あいさつを返す 100%	40~50%	高学年児童は恥ずかしさが出てきている。	先出しあいさつ 80%	20~30%	低学年児童が気持ちよいあいさつができる。
		目 標	教師の評価	児童の姿など							
あいさつを返す 100%	40~50%	高学年児童は恥ずかしさが出てきている。									
先出しあいさつ 80%	20~30%	低学年児童が気持ちよいあいさつができる。									
・ あいさつについては、「コミュニケーションの第一歩」、「一生欠かせないもの」、「朝のスタート等」の視点から、今後も継続していく。											
地 域	C	<ul style="list-style-type: none"> 親のあいさつする姿が子供の手本となる。特に母親の姿、しつけが大切なのは。 保護者に向けて家庭教育講座? 研修会? 等、実施の必要があるのでは。 スポーツ少年団等の異年齢の人との交流から、人間関係を広げたり、コミュニケーション力を高めたりすることも大切ではないか。しかし、実情は、指導者にはするが、「どの人にも」とは広がっていない。 大きな声でのあいさつでなくとも、手を振り合う、近くに来たときに声を掛け合う程度でもいいと考えている。 									



※ これからの活動の計画・準備等

- あいさつ標語・・・児童には3月実施。地域には、回覧板に挟んで実施予定。

- 「回覧板を回すときにあいさつ」はなかなか難しかったが、継続して呼びかける。
- 「親子であいさつ登校」は、行事と絡めて継続して実施する。
- 見守り隊の方と、地域・保護者の方とのつながりを深める手立ても必要ではないか。

<協議Ⅱ>

③ 令和8～10年度までの年次計画の検討

A 防災教育班【司会:岩田、記録:温水】

学 校	<p>【目標について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低学年と高学年とでは、別の物にした方が、数値的にも考えやすい。 ・ 低学年は、「1人でも」ではなく、避難することができる自信があるから良い。 ・ 目標数値は、R8年度80%、9年度90%、10年度100%を目指したい。
地 域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営協議会は、学校の取組を広めるもの。子どもを守るための地域の体制を強めていくような目標や活動にしたい。 ・ 地域住民の防災力を高めるのは、地区がするものだ。 ・ 現状、避難訓練の参加は、区長・民生委員・児童の祖父母がほとんどであるため、参加団体を増やしていけるとよい。 ・ 避難訓練への関心を高め、参加率を上げていきたい。 ・ 評価として、意識調査ができるとうい、調査方法が難しそうである。



B 地域人材活用班【司会:本田、記録:山田(倫)】

学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目指す子供の姿(目標)はR8年度80%、9年度90%、10年度100%としたい。 ・ 学校から要望リスト (こんな活動で、こんな授業で、クラブ活動で、etc.) があつたら、もっと学校側が求める人材をリストアップできると思う。重なることも多いかもしれないが。 ・ 今年度の活用状況はそのまま継続しながら、1学期に見直し・計画の時間をしっかりと設定して検討し、1年目はたくさんの方に来ていただくよう計画ができるとうい。7年度をベースにして、少しずつ時数や回数を増やした結果というイメージで。 ・ できればオープンな場所に、サポータールームを設定し、いつでも見守っていただく環境ができると子供達も落ち着くと思う。
地 域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の先生達の助けにもなり、地域もやり甲斐を感じて活気付いて、とてもすてきな計画になるとよい。 ・ 「地域」には、保護者も入るという意識をもってもらえるようにしたい。保護者にも協力を促し、たくさんの保護者に参加してもらいたい。全学年が活用できる状態まで広げられたらいい。 ・ 掃除については、環境整備部員が中心となって、清掃時間に子供と一緒に清掃する週間(月間?)を作るなどの工夫ができるのではないかな。 ・ 昼休みや授業中等、大人が目が多くなると、じんわりといろいろなコミュニケーションもとれて、児童全体、学校全体が落ち着いてくると思う。

(6) 提案「令和8年度学校経営の基本方針」【校長】

- ・ 「重点目標」…大きな変更点なし
- ・ 「努力事項」…若干の変更点あり



(7) 教育委員会より【黒木課長補佐】

(8) その他【校長】

- ・ 門川町善行児童生徒表彰の報告
- ・ 年間のお礼

(9) 閉会

努	力	事	項
<p>② 学習習慣の定着</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 門川「授業の5箇条」の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・ 年度当初の指導の徹底 2 家庭との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習用具の準備 ・ 家庭学習の習慣化 3 読書活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 隙間時間の読書推奨 ・ 家読(ノーマディア)の推進 ・ 図書館(学校・町立)との連携 <p>十 基礎学力の定着</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「ひなたの学び」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 協働的な学習の推進 ・ ICTの積極的な活用 2 校内研修の充実 3 学力調査の活用と補充指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前対策→結果分析→事後対策の充実 ・ 「ひなたの時間」の充実 	<p>① 生徒指導の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 組織的対応の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 合い言葉による指導の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 先出し挨拶、おしひき等下歩行…等 ・ 学年経営の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 週担任制や交換授業等の推進 ・ チーム支援の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒指導課と加配教員の効果的な活用 ・ 関係機関との積極的な連携 2 自主的・自治的活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級活動(特に学級会)の充実 ・ SWPBSの定期的な実践 ・ 異学年集団交流の推進 3 家庭・地域と連携した基本的な生活習慣の指導徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的な情報交換と協力依頼 <p>十 心の教育の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「ハートフル門小」の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的な啓発や称賛活動 ・ SSTやアイスブレイク等の推進 ・ ボランティア活動の推奨 2 自己有用感高揚の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「認める指導」の充実 	<p>③ 防災・安全に係る指導の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 防災教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域連携の更なる推進 ・ 地区別集団下校の充実 ・ 下校時避難訓練の見直し 2 危険回避能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全な登下校指導の徹底 ・ 規範意識の醸成 <p>十 健康・体力づくりの推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 健康教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ メディアコントロールに関する指導の充実 ・ 保健・衛生指導の充実 ・ 食に関する指導の充実 2 体育的活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ スクールスポーツプランに基づく実践 ・ 外遊びの推奨と全校児童で遊ぶ日の設定 	
<p>④ 家庭・地域・関係機関との連携推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 キャリア教育の充実と地域人材の積極的な活用(授業支援の活性化等) 2 専門機関や相談機関等の積極的な活用と連携(SC、SSW、SS、Dr、教育支援センター、社協等) 3 コミュニティ・スクールの確立に向けた学校運営協議会の推進(柱①防災教育、柱②地域人材の活用) 4 学校の広報活動の充実(ホームページ、校長室通信、学校だより、マチコミメール、児童作品の新聞投稿等) 			